

昭和医科大学医学部(Ⅱ期) 英語

2026年 3月 7日実施

[1]

1. D 2. B 3. A 4. C 5. D

[解説]

1. contradict のみ最後にアクセント。残りは第1音節。
2. disgust のみ後ろにアクセントが置かれる。
3. obscure のみ後ろにアクセントが置かれる。
4. rescue のみ前にアクセントが置かれる。
5. juvenile のみ第1音節にアクセント。残りは第2音節。

[2]

- (1) go (2) manage (3) adapting (4) lasts
(5) growing (6) put (7) developing (8) face

[解説]

- (1) go through A 「Aを経験する」という意味。一般論を述べているので現在形になる。
- (2) manage A 「Aにうまく対処する」という意味。canの後ろなので原形になる。
- (3) adapt to A 「Aに適応する」という意味。Positively adapting to normal stress が can promote の主語になっているので、動名詞にする必要がある。
- (4) last 「続く」という意味。時・条件の if 節内であることと、後続する等位接続詞 or が results from traumatic experiences を結んでいることから、空所には現在形が入ると判断できる。
- (5) grow up 「大人になる、成長する」という意味。can be が前にあることと、grow up が自動詞であることから、現在分詞にすると進行形になり、文意がとおる。
- (6) put A at risk 「Aを危険にさらす」という意味。canの後ろなので原形になる。
- (7) develop A 「Aを発達させる、Aを身につける」という意味。are が前にあるので現在分詞にすると進行形になり、文意がとおる。
- (8) face A 「Aに直面する」という意味。一般論を述べているので現在形になるが、later on 「後に」と文末にあることから、過去形 faced にしても許容されるべきだろう。

[3]

1. B 2. C 3. B 4. C 5. B
6. A 7. A 8. B 9. C 10. C
11. D 12. B 13. D

1. prior to は「[名詞]より前に」という意味の前置詞なので直後に名詞が来る。この時点で D が消える。また C は名詞ではあるが空欄の直後に名詞である the students があるので不適。前置詞の直後に名詞が2つ続くことはない。Aのような having Vp.p.～ は同一文中の V より昔のことを表す際に用いられるが、今回は prior to より、instruct の

方が先に起こっているので不適。

2. **S is taken by surprise** で「S は不意を突かれる」という熟語。While S V~, S' V'...は「～する間に...」という意味なので「～」と「...」が行われるのは同時。今回は「～」が過去形なので「...」も過去形にする。
3. **unless** が「～しない限り」、**S is accompanied by** [名詞] で「S は [名詞] に付き添わされる」という意味ということが分かっていたら解ける。
4. **otherwise** は「もしそうでなければ」という意味。ここでは「会合に参加しなかったら」という形。
5. **tried** とあるので「過去」の話。**wouldn't V 原**～なら「どうしても～しようとしなかった」という「過去の拒絶」を表すことができる。一方で **might** は「～かもしれない」という風に「現在」のことを表すために使われる。
6. **taking [...]** symptoms が S で直後が V 原であることに着目する。B は「～するのがよい」というように原則として S に人が用いられる表現なので意味的にも形式的にも不適。C は **ought to** という形で使うので不適。D は **S is supposed to V 原**～という形で用いられる。
7. **under** [名詞] で「[名詞] の下で」。
8. 仮定法過去完了の形として適切なものを選べば良い。D は **Had it not been for** なら正解。
9. **come around** 「意識を取り戻す」である。
10. 後ろに **inattentive** と形容詞が続いているので、**how** を置いて **inattentive** 「いかに不注意だったか」という意味を作る。
11. **As is often the case** で「よくあることだが」の意味、**As is often case with** ～「～にはよくあることだが」は頻出。
12. 主語を強調する強調構文に、**not so much A as B** 「A というよりもむしろ B」の構文が組み込まれた形である。サッカー選手としての成功は能力よりも情熱だったという意味。
13. **only recently** という副詞句を **It was** と **that** の間に挟むことによる強調構文である。したがって、**It** が正解。

[4]

1. 人間の健康は4つの体液によって支配されており、それらが均衡を保つときに良好な健康状態がもたらされるという考え方。
2. C
3. ★問題の解釈によって下記の2パターンの解答があり得る。
 - ・ある特定の生理的な効果を得ようと望むときに、生化学的なつながりを切ってしまうことは誤った見方であり、めったに成功をもたらさないということ。
 - ・特定のたんぱく質に結合してその働きを阻害することのできる化学物質が、最終的に

健康にどのような影響を及ぼすかを予測するのは非常に難しいということ。

4. D
5. 原因が生命の階層構造のどこにあるのかを見極め、その問題に合わせて治療法を調整しなければならない。(48字)

[解説]

1. 直前の文, the idea that human health is governed by four bodily fluids called the humors, and that good health results when they are in balance を参照すればよい。
humor はここでは「体液」の意で、そのまま機械的に訳すと「体液と呼ばれる4つの体液」となってしまうが、日本語として冗長であるので called the humors の部分は解答ではカットした。
2. drug discovery 「創薬」がトピックの段落で、「広範にわたる化合物を合成し、any が望ましい効果を引き起こす兆候を示すかどうかを見るために細胞培養でそれらを試験する」という文脈から、any = chemical compounds 「化合物」であると判断できる。
3. 問いの要求が曖昧であるため、2つの解釈があり得る。設問は「下線部(3)の内容を解答欄に収まる程度の日本語で具体的に述べなさい」とあるが、この「内容を述べよ」というのが、「下線部(3)とはどういうことか」という意味でのパラフレーズを求めているのか、あるいは下線部(3)が why that is so であることから、「何故それがそうであるのか」と言う～という理由の説明を求めているのかが不明瞭である。前者で解釈した場合は、下線部(3)に含まれる指示語 that と so を明示しつつ下線部そのものの意味を説明すればよいので、直前の文 The final health outcome ~ very hard to anticipate. を参照したものが解答となる。一方、後者で解釈した場合、why に対する説明は直後の文の In short, ~ 以降でなされているので、ここを参照したものが解答となる。
4. 「たんぱく質の活動をブロックするのではなく、it をエンコードする遺伝子を阻害することによって、たんぱく質そのものの生産を変えたり妨げたりする」という文脈から、it = that protein であると判断できる。
5. 最終段落最終文に To treat disease at its root 「病気を根本から治療するためには」という書き出しの文があることから、それ以降の内容を参照すればよいと分かる。

[5]

1. 夫の絶え間ない内なる対話が、次々に外向きの言葉としてにじみ出て独り言になること。(40字)
2. 自己は他者の視点を取ることで、自らとの対話を生み出す。
3. (A) 4 (B) 3
4. 5番目 : yourself, 8番目 : shoes
(Why don't you put yourself in their shoes)

【解説】

- 直前の a constant inner dialogue that spoils out into external speech を it は指している。つまり、Gernyhough 氏の妻が夫の「独り言」に次第に慣れたという文脈である。
- S は the self, V は generates, O は conversations の第3文型であり、それに by doing 「～することで」という前置詞句が続いている。self は「自己」、itself は「自ら」と訳しておいた。perspective は「視点」の意味で、「他者の視点をとることで」。
- (A) 直前の文で、人の話を聴く機会に乏しい家庭環境に育った子どもたちは独り言の発達が乏しいと述べられており、また空所を含む文では、低所得でネグレクトが見られる都会の家庭の子どもたちは独り言の発達が遅れると述べられている。二つの文の関係を考えると、抽象→具体の論理展開であり、例示の 4. For example 「例えば」が適する。(B) 空所の直前で、自分の内なる会話が自責的か他責的かによって、他者からの言葉の解釈も異なってくるということが述べられており、空所を含む文では、内なる会話が他者の発言や他者との関係性にも影響を与えていることが述べられている。二つの文の関係を考えると、後の文は前の文を言い換えたものであり、3. In other words 「換言すれば」が適する。
- Why don't you ~ ? で「～したらどうだろうか」という勧誘の意味を表す熟語、put oneself in one's shoes で「～の立場になって考えてみる」という熟語であり、両者を組み合わせて、Why don't you put yourself in their shoes? が正解の語順となる。

【総評】

発音・アクセントの設問が復活するなど、ここ数年では例のない 5 題構成となった。しかし、重ための要旨要約問題がある I 期と比べれば記述量はかなり少なく、取り組みやすいだろう。数学に取り組む時間を十分に確保可能。文法も I 期のようなマニアックな類のものはほとんどない。I 期に比べ合格ラインの大幅な上昇が予想され、一次通過ラインは 75% 程度か。

医大別直前二次試験対策講座(後期)

合格を勝ち取る！

各大学の二次試験の要点解説と面接対策

- 日本医科大学 (般後)
- 昭和医科大学 (般II期)
- 金沢医科大学 (般後)
- 獨協医科大学 (般後)
- 聖マリアンナ医科大学 (般後・共)
- 日本大学 (N方式2期)

◆スケジュールについてはHPでご確認ください。



26年度解答速報はメルマガ登録またはLINE友だち追加で全科目を閲覧

本解答速報の内容に関するお問合せは


医学部専門予備校
YMS
 heart of medicine
 ☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木 1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録



LINE 登録

